

公益社団法人 私立大学情報教育協会
平成24年度 第3回医学教育FD/ICT活用研究委員会 議事概要

I. 日 時：平成24年7月12日（木）13：30～15：30

場 所：公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局会議室

II. 出席者：内山委員長、福島委員、吉岡委員、高松委員、渡辺委員（ネット出席）

（事務局 井端、森下、平田）

III. 検討事項

今回は医学教育における教育改善モデルを実現するための教育力について検討し、前回は「【1】医学教員に期待される専門性」についてまとめたため、引き続き「【2】教育改善モデル実現に求められる教育力」と「【3】教育力を実現するためのFD活動と大学としての課題」を以下のとおりまとめた。

1. 「【2】教育改善モデル実現に求められる教育力」について

3つの教育改善モデルの実現には、教員の能力として、学生一人ひとりの理解度把握とそれに応じた指導、協働学修の実施とコーディネイト、それらをより効果的にするためのICT活用が必要であることを確認した上で、以下の7つを教育力としてまとめた。

【2】教育改善モデル実現に求められる教育力

- ① 学生の各学年の到達度に合せたシナリオを作成できること。
- ② 学生の学修行動の観察あるいは学習成果のポートフォリオから、学生一人ひとりの学習上の問題点を抽出してフィードバックできること。
- ③ 一人ひとりの学生が対話を通じて効果的に学修できるようグループ活動をコントロールすることができること。
- ④ 多職種の教員と連携して授業を組み立てられること。
- ⑤ グループごとの進捗状況を観察して、状況に応じた教材を与えられること。
- ⑥ 討論を通じて学生が理解できていないことを把握し、その場でフィードバックできること。
- ⑦ 教育改善の視点からICTによる教育機器の特性を理解し、効果的な活用ができること。

2. 「【3】教育力を実現するためのFD活動と大学としての課題」について

1. で掲げた教育力の実現には、学生の理解度把握、協働学修の実施、学生への指導法が重要で、また、有効なICT活用も必要となるため、FD活動と大学としての課題については以下のようにまとめた。

【3】教育力を実現するためのFD活動と大学としての課題

(1) FD活動

- ① シナリオの事後検討と学習効果についてのワークショップを組織的に行う。
- ② 学修上の問題点を探る認知カウンセリングの講習会を行う。
- ③ グループ学習を促進する指導法についてのワークショップを組織的に行う。

- ④ 授業、実習指導、フィードバックの仕方について、マイクロティーチングの手法を用いて定期的に振り返りの機会を持つ。

(2) 大学としての課題

- ① 学務系職員、ICT技術系職員の教育支援能力の開発（SD）を組織的に行う必要がある。
- ② ICTを活用した教育手法を支援する組織を大学として整備する必要がある。
- ③ 多職種連携教育を行うために大学間連携や地域社会との連携に大学として取り組む必要がある。
- ④ ICTを用いた教育改善の可能性について対面またはネット上で情報提供を行う必要がある。
- ⑤ 世界を視野に入れた教育の質保証を持続的に行う責任がある。

2. 次回委員会

今回は、8月28日（火）13：30より開催し、「医学教育における教育改善モデル提案について」とした3つの授業モデル提案の背景・理由や趣旨を検討することを確認した。